

基本設計が決定



基本設計の模型。新庁舎の建設予定地は、ふるさと産業文化館西側の約18,000㎡の敷地で、「公園の中に建つ庁舎」として敷地全体を緑豊かな公園のように配置。

設計コンセプト

基本設計にあたり、次の3つの計画コンセプト（概念）が提案されました。

- 1 みんなが使いやすい、親しみの持てる庁舎
- 2 環境にやさしく、安全な庁舎
- 3 経済性にすぐれ、維持管理しやすい庁舎

庁舎建設の様々な工夫

庁舎建設のため、計画にあたり次のような工夫が提案されました。
1 みんなが使いやすい、親しみの持てる庁舎

- わかりやすい、使いやすい施設
 - エントランスから吹き抜きを見上げると、庁舎全体の構成がひと目でわかる明快な平面構成
 - 高齢者・車いす使用のかたなど、だれにでも使いやすい施設
 - 周辺への影響が少ない建物配置
 - 北側近隣住居への圧迫感と日陰の影響を少なくするため庁舎を敷地南西側に配置
 - 町の公共施設が庁舎計画地の東側に集まっているので、地区全体から見たつながりを考え、東側に庁舎正面を向ける
 - 景観形成に配慮
 - 集いを象徴する大屋根および親しみの持てる内外装材
 - 情報機器を利用した住民サービスの向上
 - 情報機器の設置対応および情報拠点としての設備対応
- 2 環境にやさしく、安全な庁舎**
- 太陽光の利用
 - 太陽光発電や熱を遮り光を取り入れる
 - 水と土の利用
 - 雨水を利用し、上水の使用量削減および沈下量を予測し、造成土を余盛りする過載荷重工法を採用

- 風の利用
 - 自然換気や暖気を循環させる工コシヤフト
 - 建物の安全・町の安全
 - 地震や集中豪雨に強い耐震性を高めた建物で、町の安全を守る防災拠点
- 3 経済性にすぐれ、維持管理しやすい庁舎**

- 経済性を高めたシンプルな形態
- シンプルで合理的な構造体は安全性と経済性をともに高め、外装面積の縮小化で無駄のない建物を実現
- 老朽化しにくい建物
- 内外装に耐久性の高い材料を用い、陳腐化しない質実なデザイン
- 柔軟性の高い建物
- 間仕切変更のしやすいプランおよび変更しやすい間仕切壁を採用
- 維持管理しやすい建物
- 汚れにくい建物および清掃・メンテナンスしやすい建物

実施設計から着工へ

基本設計が決定したことで、今後は今年中の工事着工に向けて実施設計に入ります。より具体的な計画について、引き続き建設委員会にて検討していきます。

なお、基本設計で決定した内容については、必要に応じて柔軟に対応する予定です。状況により実施設計の段階で変更することも視野に入れています。